

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- ①あつまるねっと/応援メッセージ
- ②ひなんの家のぼり/メディアリセットチャレンジ大会
- ③サーフィンで全国大会/英会話教室/シャクシャインロード事業
- ④教育フォーラム/定例教育員会/学校プール利用案内
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

「あつまるねっと」のサポーターが多方面で活躍

「あつまるねっと」は、地域と学校がパートナーとなって、厚真町の子どもたちの学びと育ちを応援する仕組みです。個人ボランティア、サークル、地域の団体、企業の皆さんなど多くの方が登録しており、文化活動、スポーツ活動、料理、絵本の読み聞かせ、コミュニケーション英語、地域の見守りや相談、和太鼓指導など様々なサポートを行っています。今回はその活動の一部を紹介します。

厚真中学校の授業

「農工」の授業で、草取りなどの畑の整備と、インゲン豆の苗を植える作業をルーラル在住の小山内さんがサポート



小学校のクラブ活動

上厚真小学校のクラブ活動の時間に子供向けの「ヨガ」や「走高跳」を指導した安平町在住の佐々木さん



体育大会の表彰状書き

地震の影響で会場が厚真高校グラウンドに変更となった厚真中学校の体育大会で、表彰状書きのサポートを行った渡辺さんと伊藤さん



あつまるねっと申込み ☎27-2495
教育委員会 社会教育グループ



七飯町の子どもたちから応援メッセージ

6月8日、七飯町地域子ども会育成連絡協議会から、胆振東部地震で大きな被害を受けた厚真町民への応援メッセージをいただきました。同協議会の石川兼司顧問兼会長が厚南会館を訪れ、厚真町子ども会育成連絡協議会の尾谷純司会長に手渡しました。

メッセージは七飯町内の児童や保護者らの協力を得て制作。11枚の模造紙に「頑張ってください。応援しています」「早く元気になってください」といった激励のコメントが寄せられました。石川顧問は「同じ北海道で地震があって、被災した子どもたちに寄り添いたかった。子ども

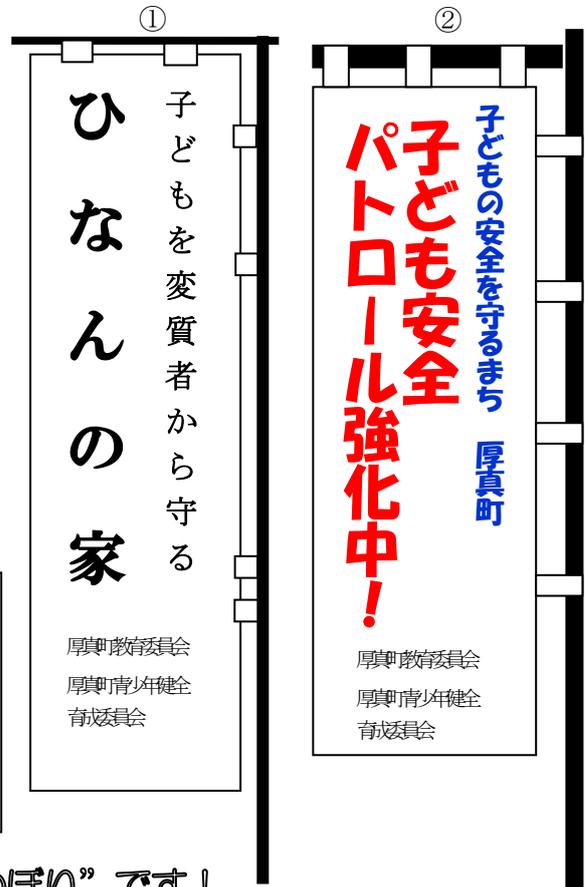
たちの笑顔を通してみんなが笑顔になれば」と話し、尾谷会長が感謝の言葉を述べていました。メッセージは田舎まつりで掲示後、厚真・上厚真放課後児童クラブにそれぞれ掲示しています。



子どもたちの安全確保のため “のぼり”を掲揚しています

みなさまのご理解とご協力をお願いいたします！

- ★登下校中に児童生徒が被害に遭う等の痛ましい報道があとを絶ちません。交通事故はもちろん、不審者など、子どもたちの周りには様々な危険が潜んでいます。
- ★犯罪や事故から子どもを守り、地域の中でのびのびと生活できるよう、緊急避難場所の目印となる『ひなんの家』①とけん制・犯罪抑止を目的とした『子ども安全パトロール強化中!』②の“のぼり”を町内適所に設置しています。
- ★家庭、地域、学校、町が一体となって防犯意識を高め、協力して取り組むことが重要ですので、子どもの安全を地域全体で守るために、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



～お願い～
職員が地区巡回等で“のぼり”の点検・交換を行っています。消耗の激しい“のぼり”が目につきましたら、ご一報いただきますようお願いいたします。
連絡先 教育委員会社会教育グループ
電話 0145(27)2495

☆地域の防犯という観点からも重要な“のぼり”です！

厚真町アウトメディア運動

「メディアリセットチャレンジ」大会を開催します

実施月日 7月7日(日) 1日限定

1 メディアリセットチャレンジとは？

幼児、小学生、中学生が、電子メディア（スマホ、ネット、電子ゲーム）の利用を1日止めます。子どもたちが、電子メディアから離れた生活をし、夜は早く寝る取組です。

2 やり方

- ① スマホ・ネット・電子ゲームを使用禁止にします。（スマホは、通話のみ可とします。）
- ② 夕食開始時から、テレビも含め子どもに関わるすべての電子メディア機器をOFFにします。
- ③ 電子メディアをOFFのまま、「えっ！」と言うくらい早く就寝します。
乳幼児は 20時、小学生は 21時を目標に。
中学生は、就寝時間も含めた学習計画を立てます。中学生も早く就寝します。

3 その他

チャレンジに成功したご家庭を表彰し、記念品を贈呈します。

丸山君がサーフィンで全国大会へ



丸山 晴風 君
(マルヤマ ハルタ)
厚真中1年 豊沢在住

6月9日に浜厚真海岸で行われた全日本サーフィン選手権大会北海道支部予選に出場。競技の結果、キッズクラスの1位となり、同クラス北海道代表として8月18日から高知県で開催される第54回全日本サーフィン選手権大会への出場

が決定しました。

丸山選手は、ABCジュニアサーフクラブに所属し、同クラブ代表でもあるお父さん(聡史さん)の指導のもと、地元浜厚真海岸で毎日欠かさず、朝夕のサーフィントレーニングに励んでいます。ここ数年は、道外の大会への遠征や海外トレーニングの経験も積んでおり、昨年8月に浜厚真で行われたサーフィン大会では、大人と同クラスで優勝するなどメキメキと上達しています。初出場となる全国大会で、丸山選手の活躍が期待されます。

東京五輪で正式採用となるサーフィン競技。競技自体への注目度も高まっています。

キャロライン先生の英会話教室

5月15日に始まったキャロライン先生の英会話教室は現在13人が参加しています。初心者クラス6人は、あいさつや基礎の英会話をゲーム感覚で学んでおり、積極的に英語で質問できるようになりました。

経験者クラス7人は、キャロライン先生の母国であるカナダの文化も学びながら英語力向上を目指しています。キャロライン先生は日本食が大好きで、お互いの国の食文化を知る機会にもなっています。



5月29日、両クラス合同でメイプルシロップを使ったバタータルトを作りました。「一度も作ったことがない」という先生の言葉に驚きながらも、タルトはおいしく出来上がりました。

英会話教室の申し込み
厚真町教育委員会 社会教育グループ
☎27-2495

令和元年度 シャクシャインロード事業

「巨大パッチワーク」による慰霊旗の制作

「シャクシャインの戦い」による動乱期の中で犠牲になった、アイヌ・和人双方に対して慰霊の意を示す記念の旗を制作します。制作に当たって、白老町、みんなの心をつなげる「巨大パッチワーク」の会(白老町)、アイヌ刺繍チセの会(長万部町)の協力を得て、「巨大パッチワーク」で作る、慰霊旗の一部として使用します。なお、完成した旗は、シャクシャインの戦いで主戦場だった長万部町から、シャクシャインゆかりの新ひだか町までのリレーで使用される予定です。

パッチワークの制作・応募方法に関しては、長万部町役場ホームページまたは下記QRコードからご確認ください。(7月26日締め切り)

問い合わせ先

長万部町新幹線推進課

新幹線・政策推進係

☎01377-2-2450



主催/長万部町・公益社団法人北海道アイヌ協会

厚真の子どもの未来を創る教育のあり方を考える

～7月26日 厚真町教育フォーラムへ皆様の参加をお待ちしています～

厚真町では小中一貫した英語教育を実施するとともに、昨年度から厚真町ならではの義務教育9年間の学びをつなぐ小中一貫教育のあり方を検討してきています。その第1回目として昨年8月に教育フォーラムを実施し、地域・保護者・教職員の皆様が「厚真の子どもたちの良さや課題は何か」について話し合い、「こんな厚真の子を育てたい」と意見交換をしました。今年の教育フォーラムでは、そのまとめとして、育てたい能力を中心に厚真町の小中一貫教育の全体構想の骨子を説明し、厚真の子どもたちをよりよく育てるため、地域・保護者・学校が連携して取り組めることは何かを探ります。チーム厚真で子どもたちを育てるため皆様のご参加とご協力をよろしくお願いいたします。

《日程・会場等》 主催：厚真町教育委員会

☆日時：7月26日（金） 13時～15時30分

☆会場：厚真町総合福祉センター 大集会

☆参加：地域・保護者・教職員の皆様

多くの皆様の参加とご意見をよろしくお願いいたします



～小学校あつまPR活動から～

《内容》

1. 説明：厚真町の小中一貫教育全体構想の骨子
2. シンポジウムのテーマ：小中一貫教育を通してつなぎ、広げ、支える取組とは
3. ワークショップのテーマ：ふるさと厚真に学ぶ教育をすすめるために



～昨年度教育フォーラムのワークショップから～

5月定例教育委員会

5月30日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

令和元年度中学生海外派遣研修事業応募者について/厚真町英語教育推進委員会について/厚真町小中一貫教育推進委員会について/厚真町いじめ問題対策連絡協議会について/親子deくろぎ森ガールについて(ほか1件)

◆議案

厚真町教育委員会事務局組織規則の一部改正について

◆協議事項

厚真高校への厚真町学校給食の提供及び厚真町学校給食センター条例の一部改正について

◆その他

北海道市町村教育委員研修会の開催について

★問合せ

教育委員会学校教育グループ ☎27-2494

学校プール利用のお知らせ

次のとおり、一般の方に上厚真小学校のプールを開放します。

※今年は厚真中央小学校のプールは開放しませんのでご注意ください。

期間 7月17日【水】～9月7日【土】

ただし、8月13日【火】～18日【日】

は学校閉庁日、水入れ替えのため閉鎖します。

時間 平日 14時～17時

土日祝日夏休み 10時～17時

(12時から13時まで昼休み)

問合せ 教育委員会学校教育グループ

☎27-2494

図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

絵本ライブのお知らせ



京都で児童書・絵本専門店「えほん館」を営む花田睦子さんが、厚真町青少年センター図書室で下記のとおり「絵本ライブ」を行います。

昨年の地震を機に、図書室の運営に支援をいただいている京都の読み聞かせ団体、「京都絵本を楽しむ会」に花田さんをご紹介いただき、このたびライブを開催する運びとなりました。また、同団体から絵本約30冊を寄贈していただき、絵本コーナーで展示しています。

花田さんからは「年齢問わず、お子さんからお年寄りまで楽しめる絵本ライブにしますので、ぜひお立ち寄りください」とのメッセージをいただきました。事前予約などは必要ありませんので、お気軽にご参加ください。

日時：7月20日 土曜日
11時30分から12時まで
場所：青少年センター1階 絵本コーナー

おしえてください

図書室では町民の皆さんに参加していただける展示を考えています。現在、「旅行」にまつわる展示を企画中なのですが、その参考として「あなたが旅行にでかけるきっかけ」を教えてください。

名物、名所、何でも大歓迎です。応募用紙は青少年センター図書室カウンターにありますので自由に記入して提出してみてください。

■青少年センター 7月の休館日
15日(月) 海の日

七夕飾り

今年も短冊を用意します。願い事を書いてつるしませんか？お待ちしております。

配布場所：青少年センター図書室カウンター

応募開始：7月1日から



予告：昆虫絵本特集展示開催

かわいいイラストの絵本から大迫力の絵本までたくさんの昆虫絵本を展示します(7月25日から)。

■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)

午前9時から午後7時(火・木)

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時(月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

7月のおはなしのびっこは 25日(木)10時から 厚真子育て支援センターです

☆放課後子ども教室☆

小学校の運動会や田舎まつりなど、子どもたちにとっては楽しいイベントが多い6月。田んぼや畑、身近な草木も緑がまぶしく、厚真の初夏をにぎやかに彩っています。移ろう季節に水遊びが楽しい暑い夏を期待したいところです。果たして今年はどんな夏になるのでしょうか。

6月8日（土）に開催された運動会を前に、放課後子ども教室では『プロに学ぶ走り方教室』を実施しました。講師に北風沙織選手（北海道ハイテクアスリートクラブ）を迎え、計4回子どもたちに速く走るためのコツを伝授していただきました。ウォーミングアップにはスキップや早歩きなど逃げ方を限定したオニごっこを行ない、その後は腕の振り方、足を高くあげる練習、スタートダッシュのポイントなどのレッスンの時間。活動を終えた子どもたちは「速く走れるようになった気がする」と自信を得ていたようです。最後には北風選手と徒競走やリレーを行い、一緒に走る楽しさを味わいました。プロアスリートのスピードを間近に「すごい！！」と歓声をあげる子どもたち。北風選手からは「ここまで練習したことを活かして、運動会の本番でも頑張ってください」と激励の言葉をもらい、運動会本番では練習したとおりに力を振り絞って、懸命に走る子どもたちの姿がありました。



6月2日（日）に今年度最初の特別教室・あつまっ子ふるさと体験教室を開催しました。「自分が暮らすまちのことを、自分の体験をもとに、自分の言葉で語れる厚真っ子に育ててもらいたい」という思いを込めて地域の人や産業、自然、文化に触れる機会として開催している特別教室です。今シーズンの幕開けは、厚真町が誇る主要農産物であるお米をテーマに、堀田昌意さん（新町）のほ場をお借りして田植え体験を行ないました。田植え体験を始めたのは今から7年前のことです。昨年も田植えは行いましたが、北海道胆振東部地震の影響で収穫はできませんでした。美味しいお米が育ち、今年は稲刈りもできるよう1本1本の苗に願いを込めて植えました。天気も良く、絶好の田植え日和だったこの日、ムニユムニユとした泥の感触に楽しげな子どもたちの声が響きます。1本ずつ慎重に植えていく子もいれば、自分のセンスを信じて勢いよく進んでいく子もいて、それぞれの性格が見えるのも面白さのひとつです。最後には泥遊びにも発展し、お約束通り全身泥だらけになった子もいました。青空のもと、子どもも大人も笑顔があふれる1日となりました。

